



社会福祉法人天竜厚生会

企業情報 業 種：福祉
所 在 地：浜松市天竜区渡ヶ島217-3
従業員数：2,400名（※うち外国人材43名）
在留資格：永住者、定住者、日本人の配偶者等、介護、
特定活動、留学、特定技能
国籍・地域：ブラジル（8）、フィリピン（6）、
インドネシア（10）、ミャンマー（10）、
ベトナム（4）、ペルー（2）、大韓民国（1）、
カンボジア（1）、中華人民共和国（2）
※（ ）内は職員数
ホームページ：https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/

Q 業務内容や外国人材受入れのきっかけ、これまでの経緯について教えてください。

・障がい者支援・高齢者支援・保育園や認定こども園の運営を始めとした子育て支援・地域での困りごとを解決するための訪問介護や訪問入浴等の支援・福祉を伝えるための『福祉教育事業』など、福祉と医療のサービスを静岡県内で約260事業を展開しています。
・本格的な外国人の雇用は浜松市ふるさと雇用再生特別対策事業を活用し、平成22年より本格的に始めました。当初は在日者のみを対象としていたが、平成28年よりEPA介護福祉士候補者、留学生、令和4年より特定技能外国人材の受け入れを行ってきました。
・2025年11月現在、43名の外国人材が就労しています。

Q 外国人材が活躍している状況や効果について教えてください。

・多くの方は、介護スタッフとして活躍しており、高齢者や障がい者の生活支援をしています。外国人スタッフのうち9名が国家資格である介護福祉士を取得し、正規職員として働いています。
・勉強熱心で、日本語や介護等の知識を積極的に学ぶ姿勢は多くの職員に良い刺激となっています。また、ご利用者とのコミュニケーションも積極的にとってもらえることで、ご利用者・職員双方との関係性が良くなり、施設全体の雰囲気がとてもよくなっています。
・日本語がままならないスタッフを受入れたことで、業務の細分化、見える化を行うことで、国籍に関係なく未経験の介護スタッフの受け入れる素地ができました。

Q 外国人材が安心・安全に働くことができる就労環境づくりについて教えてください。

- ・業務の細分化・見える化に取り組み、日本語が十分に習得できていないかたでも業務ができるよう見てわかるマニュアル作成をしています。
- ・外国人スタッフが、仲間を作り、悩みなどを打ち明けられるように、年に数回外国人スタッフによる交流会を開催しています。
- ・日本語の研修にもWEBを使用し参加しています。
- ・介護未経験の外国人のために、インターシップ制度を設けています。まずは体験し、ご本人が納得し、安心してスタート切れる体制を整えています。



【WEBによる研修会】

Q 今後検討している取組やアピールポイントについて教えてください。

- ・天竜厚生会では、今後の在日外国人の高齢化に伴う外国人介護人材の確保として、雇用をスタートした経緯があり、今後も喫緊の課題としてさらに強化していきます。加えて、在日外国人の子供たちに関して、親と同じ派遣等の不安定な雇用形態への就労という課題があります。このため、在日外国人の子供たちが将来安心・安定な生活を送れるよう小学校・中学校・高等学校、在日外国人サポート団体等において福祉教育・職業講和等を通じ、職業の選択肢を広げる活動をしていきたいと思ひます。
- ・その他、海外からの人材の確保については、引き続きEPA介護福祉士候補者、留学生、特定技能を活用し、併せて人材育成・定着を図り、グローバル化した浜松市の福祉の一端を担えるよう取り組んでいきたいです。

【外国人材の声】

ゴンザレス カトレン マナロ (介護スタッフ)

日本の介護は、献身的なケアや職員の適応力が高い印象がありました。

最初は仕事のスピードの速さに戸惑い、精神的な負担もありましたが、介護が単なる身体的なサポートだけでなく、ご利用者の尊厳や心のケアにも重きを置いていることを知り、深い感動を覚えました。



【代表者の声】



理事長 伊藤 栄

私たち天竜厚生会では、30年以上前より福祉分野におけるアジア各国の研修生を毎年受け入れきており、直近2年間では新たに17名増え、現在では43名の外国人スタッフが働いています。

是非、天竜厚生会で福祉を学び、福祉分野におけるリーダー的な人材となっていきたいと思ひます。

また、私たちは在日の外国人の地域への定着についても積極的に取り組んでいきたいと考えています。生活の中で何かお困りのことがありましたら、お気軽に天竜厚生会にご連絡ください。